

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

# SUPPORTERS

サポーターズ

No.145 2015 夏号

一般社団法人

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 808 名

施設数 124 (8月1日現在)

## 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会 開催に際して

学会長 高村 浩 司  
(健康科学大学)



9月12日、13日の土日にわたりアピオ甲府にて第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会を開催いたします。この関ブロ学会は1都9県の持ち回りで山梨県では10年ぶりの開催となります。前回の24回大会は、橋田 薫(恵信甲府病院)学会長のもと750名を超える参加者の中、大変盛大に行われました。早いものであれから10年の月日が経過しようとしています。理学療法士の会員は若年層が多く、前回開催の経験者は決して多くはありませんが4年前に開催された全国研修大会の経験を生かし山田準備委員長(甲府共立病院)を中心とした準備委員会にて日々議論を重ね着々と準備を進めております。

テーマは「今、歩むべき道～生活を見据えた理学療法～」です。医療の世界でも再生医療など科学の進歩が目覚ましい一方で、地域の中で対象者の生活を見据えた理学療法をどのように発展させていくか理学療法士は今、重要な岐路に立たされていると認識しています。これらのことをふまえた上で、学会の内容としましては、一般口述発表、ポスター演題、フレッシュマン演題の他、テーマに則した基調講演、教育講演、テクニカルセミナー、シンポジウムなど盛りだくさんのプログラムを企画しています。山梨では、国際会議場クラスの大会場はありませんがコンパクトな会場の利点を生かし、ご参加いただく皆様方がすぐに顔を突き合わせ、白熱した議論が展開できる場を提供できるよう誠意準備を進めております。

会員皆様のご参加とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

### Contents

#### 第34回関東甲信越ブロック

理学療法士学会開催に際して…1

特集 平成27年度新人理学療法士・転入会員紹介…2～7

平成27年度 交流会報告…8

各部活動報告…9～12

●スポーツPT部 ●生涯学習部 ●広報部

●ボランティアスタッフ ●公開講座部

お知らせ…8・12～15

●介護保険部 ●総会議事録

●関東甲信越ブロック学会準備委員会

●公開講座部 ●学術集會部 ●事務管理局

リレーエッセイ Part27…16～17

原稿募集…16

編集後記…17

「supporters(サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

# 平成27年度 交流会報告

事業管理部

中込智和

「平成27年度一般社団法人山梨県理学療法士会交流会」を5月8日にベルクラシック甲府にて開催致しました。参加者は総勢258名（新人会員59名、転入会員6名）、参加施設数42施設と多くの方々に参加していただき、大盛況の中で交流会を終えることができました。また、今年は作業療法士会、言語聴覚士会の会長、副会長、事務局長をお招きして理学療法士会の力を感じていただけたと思います。

今年度より施設ごとの受付とさせていただき、料金の確認も事前の連絡をさせていただきました。また昨年同様施設ごとにテーブルを決め、運営させていただきました。参加人数が毎年増加しており、うれしい反面座席数が増え舞台が見えにくくなっている施設もあり、ご迷惑をお掛けしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。今年度の反省を



次年度に活かしより良い運営ができるようにしていきたいと思っています。交流会の運営方法等ご意見がございましたら事業管理部までご連絡いただけますと幸甚です。

施設紹介では新入・転入会員の皆様が各施設一丸となって交流会を盛り上げていただき、楽しませていただきました。交流会を通じて会員皆様の交流が図れたと感じております。



今年度はAPIOにて、関東甲信越ブロック理学療法士学会が開催されます。この機会に当会の活動への更なるご協力をいただければと思います。今後とも宜しくお願い致します。

お知らせ

## 介護保険部よりお知らせ

理学療法に関する介護報酬について簡易にまとめたものを、山梨県理学療法士会HPに掲載しました。印刷等して活用して頂ければ幸いです。

## 総会議事録案内

「総会議事録は士会HPをご覧ください」

# 各部 活動報告

## 社会局 スポーツPT部発

### □ 全国高等学校野球選手権山梨大会での活動報告

石和温泉病院 佐藤美帆

猛暑が続く7月11日～27日までの間、今年も全国高等学校野球選手権山梨県大会が開催されました。我々スポーツ理学療法部では、今年も準々決勝から1日3人体制で勝利チームのコンディショニング指導を依頼され球場入りしました。私は27日に行なわれた決勝戦を担当しました。連日の暑さ同様、この日も予想最高気温は36℃であり、選手たちの熱中症が危惧されました。互いに一步も譲らない熱戦に夢中になりながらも、選手たちの動きに違和感はないか等、常に確認しながら試合を見守りました。幸い我々の出番がくることなく経過しましたが、試合終了後、優勝校バッテリーのコンディショニングを依頼され、私は2年生エースの対応をしました。ストレッチを行ないながら、怪我の予防のために今のうちに必要なことやクールダウンの重要性を説明し、来年も活躍できるよう伝えました。傷害予防の重要性を、多くのチームや選手に対してもっと教育していく必要があると感じました。



### 【ATF須玉国際ジュニアトーナメント】

### □ 大会スタッフとの会話を通じて

独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院 向山耕太

去る7月4日から10日の7日間、北杜市で開催したATF須玉国際ジュニアトーナメントのサポートを行いました。私が出向した日は前日から降り続いた雨の影響でコート状況の悪い中での開催となりました。

大会が開会して間もなく練習中に缶で指を切った台湾選手が来室し、言葉も通じずジェスチャーでの対応となり難渋しましたが、評価をした結果、試合出場が可能と判断し、消毒と止血処置を行い試合に送りだしました。他にもコートサーフェスの悪条件による外傷発生が予想され緊張していましたが、その後選手対応はなくホッとしました。しかし、いきなり自身の語学力不足を痛感した日で、今後は外国選手にも対応できる語学力を養っていきたいと思いました。



期間中は大会スタッフも来室しスポーツ傷害の相談を受けます。その中で山梨のスポーツ理学療法部の活動や理学療法士の役割や専門性についての話ができ、微力ながら山梨県理学療法士会の啓蒙もできたのではないかと考えております。今後もスポーツ理学療法部の活動を通じて社会に貢献できるよう頑張りたいと思います。

● 問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾伸二

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

## □ 新人教育プログラム活動報告



【2月18日】

平成27年2月18日に平成26年度新人教育プログラムが山梨県立青少年センターにて行われました。今回は健康科学大学の村松憲先生に「症例報告・発表の仕方」というテーマで講義して頂きました。症例報告・研究を行っていくことの必要性やその意義、書く際の基本的な流れ、注意点、発表の仕方のポイントを中心にお話をして頂きました。



症例報告・研究を行うことは、治療結果や疑問点に対し自らの考えをまとめ、それらを発表することであり、決して難しいことや特別なことではないということ講義を受けて強く感じました。また、発表時には何を一番伝えていきたいのかを明確にすること

の重要性を知りました。



理学療法士として日々の患者様の診療を大切にしていくことで、新たな気づきや発見、疑問点が生まれ、それが症例報告・研究へ繋がると思いました。今後、様々な発表の機会があると思うので、自らの成長の為に、私たち一人ひとりが積極的に症例報告・研究を行っていきたいと思います。

小林 沙緒里

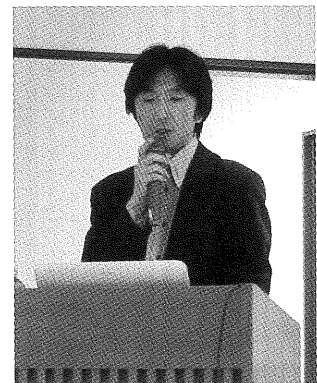
## □ 新人教育プログラム活動報告



【2月25日】

平成27年2月25日に山梨県立青少年センターにて新人教育プログラム「B-2 クリニカルリーズニング」、「A-3 リスクマネジメント」が行われました。

最初にクリニカルリーズニングについて健康科学大学の高村浩司先生に脳卒中中のクリニカルリーズニングを踏まえて講義して頂きました。クリニカルリーズニングは重要な技術で、セラピーを行う上で基礎となり、また、多様な個人的特性が大きく影響するため、患者様自身の個性を診ていかなければいけないとのことでした。



次に山梨県立中央病院の三井伸一先生にリスクマネジメントについて様々な事例を通し、リハビリ現場での安全対策を講義して頂きました。リハビリには本質的にリスクがあり、起こる事故も意外と多いため、リスク管理について幅広く考えていないと対応できない。また、「ほうれんそう」を習慣化しなければならないとのことでした。

「クリニカルリーズニング」、「リスクマネジメント」は臨床の場で欠かせないことです。今回の新人教育プログラムで聞いて終わりでなく、内容の理解を深め、今後の臨床で活かしていきたいと思いました。

山梨リハビリテーション病院 中嶋 将人

● 問い合わせ先：学術局生涯学習部 遠藤公士  
(リハビリセンター柏塾 TEL 0553-39-8433)

## □「介護予防推進キャンペーン」報告

7月12日(日曜日)イトーヨーカドー甲府昭和店において、「介護予防推進キャンペーン」と称してリハビリ・介護予防などに関する相談コーナーやエコバッグ等のグッズの配布を行いました。

34度と真夏日の中、「山梨県理学療法士会です。」「運動やリハビリの相談を受け付けてます!!」と笑顔で元気に話しかけ、グッズを配ってくださった部員の方や磯野副会長、本当にありがとうございました。また、相談者に笑顔で的確

な対応をしてくださいました小林会長ありがとうございました。

全国一斉に行うこのイベントは、各県によって独自の企画にて行っております。是非一度協会のホームページをご覧ください。

また、7月17日は「理学療法の日」です。各施設で働いている会員の皆様、理学療法士の職域拡大や地位・認知が向上されるよう、今後も広報活動にご尽力いただければ幸いです。



●問い合わせ先：広報局広報部 清水真治  
(石和温泉病院理学療法室内 TEL 055-263-0111)

## 【第50回日本理学療法学会】.....

## □ボランティアスタッフとして関わって

平成27年6月5日(金)～7日(日)の3日間、東京国際フォーラムにて第50回日本理学療法学会が開催されました。今回、私は全日程に参加し、うち1日をボランティアスタッフとして参加させていただきました。

第50回目となる記念すべき今大会——。ボランティアスタッフとして関わることが出来たことは大変光栄であり、また、様々な出会いと経験をする事も出来ました。3日間で全国から1万人を超える参加者があったそうです。私が担当した会場でも多くの方が聴講に来られ、会場内は入りきれずに通路に列が出来るほどでした。そんな中、私が行なった業務内容はタイムキーパーとサブスライドの切り替えでした。記念ポロシャツを身にまとい、初めての機器に触れる恐怖感と間違いの許されない緊張感とで手に汗をかきながらの作業でした。

『理学療法50年のあゆみと展望 ～新たなる可能性への挑戦～』というテーマで行なわれた今大会は、理学療法士3年目の私にとってたくさんのことを考える貴重な時間でした。年間約1万人もの理学療法士が輩出される時代であり、中堅に近づく自分自身が今やるべきことを見つけるためにも、改めて考えるきっかけとなりました。今後も院内に留まらず、県士会活動や協会活動等、県内だけでなく全国にも積極的に足を運んで学びを吸収し、自身が発信できる場にも参加していきたいと思っております。

医療法人石和温泉病院 木暮嘉人

## 企画局 公開講座部発

### □「平成26年度 一般社団法人山梨県理学療法士会公開講座」報告

平成26年度一般社団法人山梨県理学療法士会公開講座が、3月1日に甲斐市敷島総合文化会館で開催されました。今回は、元Jリーガーで、車椅子バスケットボール元日本代表として活躍された、京谷和幸さんをお招きし、「車椅子のJリーガー ～出会いに感謝！ 出会いの素晴らしさ～」をテーマにご講演いただきました。当日は生憎の悪天候ではありましたが、一般の方を中心に、県士会員も含め、62名の皆さんにご参加いただきました。



講演は、Jリーガーだった1993年に交通事故に遭った当時の心の葛藤、事故後に結婚した妻の支えの中での心の変化、リハビリでの苦勞、様々な人達との出会いで始まった車椅子バスケの競技生活や現在の大学サッカー部での指導に至るまで、ご自身の半生を振り返りながらお話頂きました。

様々な経験談や、「日本代表を命懸けで目指した。覚悟や決意があれば、やってやれないことはない。」という京谷さんの熱い言葉に聴講された皆さんが聞き入っていました。また、講演終了後にも車椅子の来場者とコミュニケーションをとって頂いたり、即席サイン会を開いたり、最後まで温かい雰囲気での講演会となりました。

最後に、公開講座にご参加いただいた皆様、また、広報活動など今回の企画にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

- 問い合わせ先：企画局公開講座部 上田 修  
(恵信りほく病院リハビリテーション室内 TEL 0551-28-8820)

お知らせ

## 第34回 関東甲信越ブロック理学療法士学会

テーマ

### 「今、歩むべき道」

～生活を見据えた理学療法～

○会 期 平成27年9月12日(土)  
～13日(日)

○会 場 アピオ甲府

○学会長 高村浩司(健康科学大学)

○準備委員長 山田洋二(甲府共立病院)



10年に1度の山梨開催です。仲間の発表を聞きに行きましょう！

今回よりプログラム集の発送がありません。学会HPより詳細をダウンロードしてご活用下さい。

## 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会 市民公開講座

- 講師：萩原智子さん（シドニー五輪競泳日本代表、日本水泳連盟理事）
- テーマ：いつも笑顔で～克己心～ ● 対象：どなたでもご参加いただけます
- 参加料：無料（事前登録不要、直接会場にお越し下さい。）
- 日時：平成27年9月13日（日） 15:00～（14:40開場、16:20終了）
- 会場：アピオ甲府 本館1階 寿の間（山梨県中巨摩郡昭和町西條3600）
- 問い合わせ先：一般社団法人山梨県理学療法士会 企画局公開講座部 上田  
（恵信りほく病院リハビリテーション室内 E-mail o-ueda@keishin-g.or.jp）  
一般社団法人山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

\* 駐車場に限りがございますので、なるべく乗り合わせでお越し頂けますようお願い致します。



### 萩原智子さん プロフィール

「ハギトモ」の愛称で親しまれ、ダイナミックな泳ぎで多くの水泳ファンを魅了。2004年に一度引退するが、5年後に再度復帰。しかし、五輪を目指す中で「子宮内膜症・卵巣のう腫」と診断される。困難を乗り越え、どのようにモチベーションを上げてきたのか、自身の競技人生を振り返りながら熱く語る。

#### ❖ 職歴・経歴

1980年生まれ。山梨県出身。

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。

2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。

2002年日本選手権、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。

2004年現役引退。

5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。翌年2010年には、30歳にして日本代表に再び咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。順調な仕上がりを見せていた矢先、五輪前年である2011年4月に、子宮内膜症・卵巣のう腫と診断され、手術。手術後は精力的にリハビリに励み、レース復帰。2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。4月に行われたロンドン五輪代表選考会ではレベルが上がってきた女子自由形で、堂々と決勝に残り、意地を見せた。

2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。

現在はテレビ出演や水泳教室、講演活動など多岐に渡る活動を行っている。

## 第19回山梨県理学療法士会学術集会開催ならびに演題募集のお知らせ

1. 日 時 平成28年1月17日(日) 午前9:30受付開始 10:00開演予定
2. 会 場 桃源文化会館(〒400-0222 南アルプス市飯野2971)
3. プログラム(予定)
  - 午前: 特別講演「中枢神経疾患患者の移動に対する臨床推論」  
山梨リハビリテーション病院 伊藤克浩先生
  - 午後: 一般演題(口述発表およびポスター発表)、教育セミナーまたはシンポジウム

※内容は都合により変更になる場合があります。  
※口述及びポスターのセレクションは学術集会部で行います。ご了承下さい。
4. 対象者 県士会所属理学療法士  
※発表主演者には、新人教育プログラム単位3単位 C-6の単位が認定されます。
5. 発表予定の方へ 事前に演題申し込みをお願いします。方法は E-mail(PC)にて、件名を「演題申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、平成27年9月11日(金)迄に下記へご連絡ください。確認後、演題発表に関する書類をお送り致します。E-mail 以外での申し込みは下記電話番号にご連絡ください。

## 第19回山梨県理学療法士会学術集会会期中の託児室開設についてのお知らせ

1. 開設日時 平成28年1月17日(日) 午前9:30~終了まで
2. 対象年齢 0歳~小学校低学年
3. 定 員 同一時間帯約10名程度
4. 保育料金 無料(保険料は県士会が負担致します)
5. 食事について 昼食、おやつは各家庭での準備をお願いします。
6. 申込方法  
件名を「託児申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、平成27年12月26日(土)までに学術集会部へ E-mail(PC)にてお申し込み下さい。確認後、正式な利用書類をお送り致します。E-mail 以外での申し込みは下記電話番号にご連絡ください。

●演題、託児室共にお申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号にご連絡下さい。またお預かりした個人情報は学会運営以外には使用致しません。

必要事項(演題)	必要事項(託児室)
①主演者氏名(フリガナ)	①申込者氏名
②所属(施設名 or 自宅)	②所属(施設名 or 自宅)
③連絡先住所、携帯電話番号、E-mail(PC)	③連絡先住所、携帯電話番号、E-mail(PC)
④PT経験年数(〇年目)	④お子様の年齢と人数
⑤その他、ご要望等	⑤その他、ご要望等

### 申し込み・問い合わせ先

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松855  
山梨リハビリテーション病院 理学療法課内  
学術集会部 菊池 信、清水一彦、鮎川将之  
TEL 0553-26-3030  
FAX 0553-26-4569  
E-mail: gakkaiibu.yamanashi@gmail.com



## 事務管理局より

### 山梨県理学療法士会ホームページがリニューアルしました!!!!

平成27年6月1日よりホームページがリニューアルされました。今回は会員が情報を見やすくすることを考え研修会情報とその他の情報を分けて表示しており、研修会情報はカレンダーで表示できるようになっております。また今までは事業管理部が一括してホームページの更新を行っており、時間がかかることがありましたが、これからは各局からホームページが更新できるようになっており、情報が迅速に発信できるようになっております。

今後は山梨県理学療法士会の顔として情報をお伝えできるよう活用していきますのでお気づきの点等ございましたらご連絡いただくと幸いです。

事業管理部 中込 智和

#### 慶弔申請の窓口は事務管理局です

■詳しくは、士会ホームページの「お問い合わせ」より、「会員慶事通知フォーム」「会員弔事通知フォーム」をご使用ください。

#### 入会申請について

新人職員の皆様、入会申請はお済みでしょうか？もし協会からの刊行物が届いていない場合、入会手続きがなされていない可能性がございます。是非、ご確認ください。

#### 財務部より 会費納入ご協力ありがとうございます。

会費未納の会員の方々にお知らせ申し上げます。再度、確認のご連絡をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

#### 休会規定について

■休会期間は1年単位となります。(4月1日から翌年3月31日)  
年度途中の休会も終期は3月31日となります。

■休会満了までに、復会・休会継続(更新)・退会の手続きが必要です。

満了時までに手続きがない場合は、規定により退会となります。

再度入会を希望する場合は、入会手続き及び入会金が必要となり、新人教育プログラムの再履修が必要となります。

尚、「休会継続」の手続き受付期間は、1月1日～3月31日とさせていただきます。

■休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、マイページより異動申請にてお手続きください。

■休暇中の研修会等への参加資格はなくなります。

\*インターネットからの手続きができない場合は、日本理学療法士協会へご連絡ください。

●問い合わせ先：事務管理局 藤田 yamanashi.pt.jimu@gmail.com

# リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

## Part27-1

湯村温泉病院 深澤 愛美

りほく病院の横内香織先生からバトンを受け取りました、湯村温泉病院の深澤愛美です。

5月21日(木)～24日(日)に、日本糖尿病学会が主催する第58回年次学術集会に参加する為、山口県下関市まで行ってきました。会場は海峡メッセ下関他、8つに分かれており、糖尿病に関する研究発表やシンポジウムが行われました。今回の参加目的はポスター発表が主でしたが、他職種の立場での糖尿病に関する研究や関わりなど、とても勉強になるものばかりでした。

また、参加していたPTのみで懇親会も行われました。残念ながら私は参加できませんでしたが、全国から糖尿病に関心のあるPTが集まり食事も交えながら交流したようです。

もちろん、関門海峡を見たり、おいしい料理を食べたりと下関も満喫しました。一緒に参加した上司と同期には、いろいろと気遣いをさせてしまいましたが、産休前の一番の思い出になっています。

今回は、『甲府共立病院 向 真史先生』です。

宜しくお願い致します。



## 原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

注意

内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など

2. 各種お知らせ事項など 3. 体験記など 4. その他

※第146号発行は、

12月下旬を予定しています。

原稿の締め切りは、

11月下旬です。

●問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟

一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション

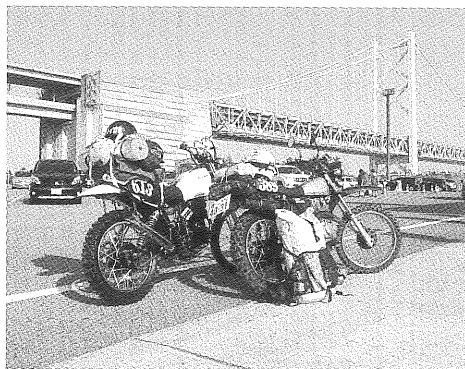
TEL 0553-20-5255 E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

## Part27-2

甲府脳神経外科病院 宮澤 僚

一宮温泉病院の高嶋 悠先生よりバトンを受け取りました。甲府脳神経外科病院の宮澤 僚です。

少し前の話になりますが、今年のゴールデンウィークを皆さんはどのように過ごされましたか？ 私は4連休をいただいて四国まで男2人のバイク旅に出かけてきました。ちなみにバイクは250ccのオフロードバイクです。出発の前日バックパックに着替えなどの荷物をできるだけ少なくパッキングし、バイクの荷台に寝袋とテントを縛り付け準備は完了です。私たちの目的は瀬戸大橋をバイクで走ることでした。瀬戸大橋は岡山県と香川県を結ぶ10の橋の総称で、本州と四国の連絡橋です。全長は12,300mもあります。途中道に迷う事やバイクトラブルもありましたがそれも旅の醍醐味。山梨県を出発し走ること20時間。なんとか瀬戸大橋までたどりつきました。到着した瞬間の景色は今でも鮮明に覚えています。とにかく感動しました。あの景色は一瞬でそれまでの疲れをふっとばしてしまいます。人生で一度は観ておきたい景色だと思いました。



今年はまだシルバーウィークもありますね。旅など普段とちょっと違う休日を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

次回は、『湯村温泉病院の手塚祥平先生』です。よろしくお願い致します。

## 編集後記

朝夕はめっきり涼しく、過ごしやすくなりましたが、会員の皆様はお変わりございませんか。本年度第一号の会報誌を無事に会員の皆様へお届けすることができました。本年度も会員の皆様へ有益な情報の提供ができるよう心がけていきたいと思えます。これからの季節、朝夕冷え込んでまいりますので会員の皆様お身体にお気をつけください。

菊池 悟

● 発行 ● 一般社団法人 山梨県理学療法士会

● 代表 ● 小林 伸一

● 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 岩間 拓也 上野 貴史

● 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ

● 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754

いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256

一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434

E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp